

地域住民の健康維持にFMDを活用しています



東松山医師会病院
健診センター

地域住民の健康維持、予防医療に携わる東松山医師会病院 健診センターにて、実際どのようにFMD検査をご活用されているかお話を伺ってきました。

東松山市：埼玉県の中央に位置し、人口は89,264人(平成26年4月1日現在)

Q ユネクスイーエフを導入しようと思われたのはなぜですか？

A いつも同じ検査項目しかない、健診に来られる方が離れて行ってしまいう可能性があります。そのため、当センターでは毎年新しい検査項目を検討しています。丁度検討している最中に、学会で見たユネクスイーエフに目が留まり、予防に役立てることが出来ると考え、導入に至りました。

Q FMD検査の良い点を教えてください。

A 実際に動脈の拡がり画像で分かるため、視覚的に結果が分かりやすいという点が良いと思います。

Q 人間ドックに来られるのはどのような方が多いですか？

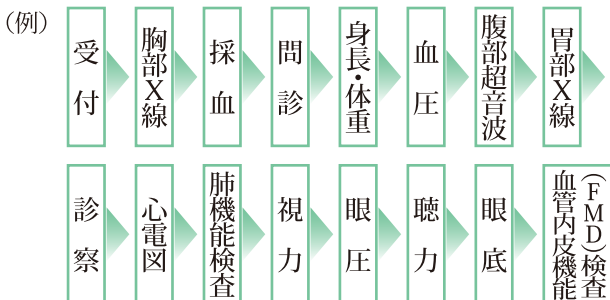
A やはり、地域住民の方が多いです。職種としては、農協や学校関係者などが多いです。

Q 健診センターの特徴を教えてください。

A 午前中で終わるため、健診後に仕事へ行かれる方も多く、お待たせすることなく、スムーズに次の検査へ進めるように心がけています。また、女性の方にも受け入れられやすいように、女性医師による診察、女性技師による検査を行っています。

Q 健診の流れを教えてください。

A 以下のような流れとなります。



Q 血管内皮機能 (FMD) 検査はどのような方が受けられますか？

A やはり、新しい検査で今まで受けたことがないから受けていご希望される方が多く、検査に関するご質問もよくいただきます。また、受診者は中高年の方が主ということもあり、動脈硬化が心配で受けられる方も多いです。

実際に、FMD検査を受けられた方98名についてみたところ、FMD値は平均6.1±2.3%、測定者数は50代が最も多い結果となりました。しかし、予想に反して総受診者に対するFMD測定者の割合は、30代以下が約9%と最も高いということがわかりました。一概には言えませんが、人間ドックに来られるこの年代の方は、健康に対する意識が高いのではないかと思います。こういった方々を定期的にフォローし、ご自身の血管の状態を把握していただくことで、日々の生活習慣の改善に役立てることができると考えています。また、50代以降に比べ、40代での受診者の割合が低いことがわかりました。働き盛りの年代は生活も不規則であったり、ストレスも多く、動脈にダメージを受けやすい環境にある方も多いと思われます。実際に詰まってからでは遅いため、こういった方々にもFMD検査を受けていただけるよう、今後積極的にご案内していきたいと思ひます。

Q 最近、外来でも活用されていると伺いましたが。

A はい。今までは健診センターのみでしたが、外来でも検査をはじめました。予防から治療や運動・食事療法の効果と幅広く活用できるため、今後は健診と外来の両方で役立てたいと考えています。

血管内皮機能(FMD)検査の様子



待合スペース：
リラックスしてもらえよう、工夫しています。